

沖縄修学旅行1日目「平和学習」

10月8日(日)から11日までの3泊4日で沖縄修学旅行の団長として参加しました。

1日目は、平和学習です。はじめに平和祈念公園を訪れました。到着前にバスガイドさんが、沖縄戦について丁寧に解説をしてくれました。いつ来ても、どのバスに乗ってもしっかりとした解説をしてくれます。素晴らしいです。ガイドさんの案内で「平和の礎」をめぐり青い海をバックにして。記念撮影をしました。天気が良く、海の色がとても綺麗でした。本当にこの場所で、「鉄の暴風」が吹き荒れて、語り継がれているような惨劇が起きたのだろうかという不思議な感覚に襲われます。平和の尊さを考えさせられる場所です。

その後、平和記念堂にて古謝(こじゃ)さんの講話を聞かせていただきました。戦争を直接知る方のお話を聞ける貴重な機会となりました。生徒達も平和へのメッセージをしっかりと受け止めていたと思います。決して過ちを繰り返してはならないと強く思いました。と同時に、語り部の方達が、あとどれくらい私たちに直接語りかけてくれるのかについても考えてしまいました。



沖縄修学旅行1日目「平和学習」その2

平和祈念公園の次に訪れたのは、「ひめゆりの塔」と「ひめゆり平和祈念資料館」でした。

ここを訪れるたびに過去の失敗を思い出します。平成11年から21年までの11年間、教員として下妻一高に勤務したことは既にこのブログで書きました。初めて担任した学年の修学旅行は、2001年の「9.11」の事件の直後のことでした。世界が、日本が、そして沖縄が異様な緊張状態にありました。空港での手荷物検査がとても厳しかったのを今でも思い出します。私自身も緊張していたし、生徒にも厳しく接していたと思います。

「ひめゆり平和祈念資料館」の見学を終えて、定刻にバス内で点呼をしてみると、女子生徒が3名戻っていませんでした。私がイライラしていると、10分ほど遅れてその3名が走ってきました。私は、理由も聞かずに怒鳴りつけてしまいました。あとでわかったのですが、3名は、資料館の中で時間を忘れるほど熱心に、戦争体験の手記を読んでいたのです。バスガイドさんは、「こんなに熱心に資料館を見学してくれる生徒さんは、貴重です。沖縄県民として感謝したい。先生はもっと自分の学校の生徒を誇りに思うべきです。」と諭されてしまいました。私は大変恥ずかしく思い、生徒にも謝罪しました。そして、嬉しい気持ちにもなったのです。下妻一高生は素晴らしいな、ここで働けることに感謝しなければいけないな、という思いが湧いてきました。教員として未熟な失敗談ですが、今となっては良い思い出です。今回の旅行団の生徒達も、あのときの生徒同様にしっかりと見学していたことを付け加えます。

